



# 学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

平成27年6月3日

## 6月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

## 子どもたちの全力に感動！！ 陰のお力に感謝！！

副校長 佐久間 宣朝

抜けるような青空のもと、そして真夏のような陽射しの中、スポーツフェスタが開催されました。保護者、ご家族、地域の方と、多くの方々のご参観本当にありがとうございました。おかげさまで熱中症に倒れる人もなく、無事に執り行うことができました。また、内容も近年まれにみる大接戦で、紅組603点 白組597点のわずか6点差で勝敗を分けました。どの種目も子どもたちの全力が光っていました。また演技でも、子どもたちの生き生きとした表情の素晴らしいダンスでした。

1・2年生ブロックでは「360° ～みんなはかがやいてる～」そのテーマ通りどの子も輝いていました。特に1年生は入学して間もなくの演技練習です。列をそろえたり、周りとの間隔をとったりするところからの練習でした。当日はお母さんたちのお手伝いで完成したポンポンをしっかりと持って、元気に演技ができました。

3・4年生ブロックの「釜南 Guts!」は、トラックいっぱい広がったり、最後に皆が中央に集まったりする、大きな隊形移動を入れたダイナミックな演技でした。最後の決めのポーズは手袋の色が鮮やかに映り、とてもきれいでした。

5・6年生ブロックの「釜南ソーラン」は何と言っても圧巻でした。歌いだし「ヤーレンソーラン、ソーラン・・・」のところは力強く船の櫓をこいで漁へ出ていく姿を表現した動きです。その動きは地味でなかなかうまくできないところです。初めのうちはどこまでできるようになるのか心配でした。本番が近づくにつれ、段々と力強くなってきました。本番当日は素晴らしい出来となりました。それだけでなく列をしっかりと揃えようと声を掛けあい、ところどころで微調整する姿が見られました。掛け声はとても大きくなり、力いっぱいの演技となり、その様子を見て本当に胸が熱くなりました。

また、その踊りに花を添えたのはソーラン鉢巻です。この鉢巻は、前校長の田中先生が「ソーランの鉢巻があるといいなあ。」と以前から口にされていました。その声を受けて学校運営協議会で相談し、有志の方々が声を掛け合いサポートの方にもお手伝いの輪が広がっていきました。デザインは昨年度の6年生たちが考えました。額中央には校章にもあるウルムスの若木の芽、右端にはソーランの荒波を、左端には伸びゆくウルムスの枝をデザインしました。この鉢巻が完成に至るまでも、山あり谷ありでした。細かいデザインを布にプリントするためにスクリーン印刷で行うことにしました。しかし、お母さんたちは初めてのスクリーン印刷で、やり方は手探り状態。製版作業に必要な暗い部屋を探したり、製版がしっかりとできるかどうか何度も試したりして、やっとの思いで印刷となりました。家庭科室で20名あまりのお母さん方がかわるがわる印刷台、乾燥台を行き来してできました。縫製もお母さんと地域の方のご苦勞で仕上がったそうです。その鉢巻をつけた114名が勇壮に踊りました。それは新しい釜利谷南小学校の伝統が生まれた瞬間です。製作に携わってくださった皆様、本当にありがとうございました。

最後になりましたが、当日まで子どもたちの体調管理を含め応援をしてくださったご家族の方々、献身的な準備を進め当日の会場管理や受付などをしていただいたPTA役員の皆様、後片付けを手伝ってくださった保護者・地域・卒業生の皆様、本当にありがとうございました。



スクリーン印刷中のお母さん方